

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 2190500302          |            |            |
| 法人名     | 株式会社 トリア            |            |            |
| 事業所名    | グループホーム トリア吉野町      |            |            |
| 所在地     | 岐阜県各務原市蘇原吉野町3丁目43番1 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成29年2月7日           | 評価結果市町村受理日 | 平成29年5月15日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;i_gyosyoCd=2190500302-008PefCd=21&amp;VersionCd=022">http://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&amp;i_gyosyoCd=2190500302-008PefCd=21&amp;VersionCd=022</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 旅人とたいようの会 |
| 所在地   | 岐阜県大垣市伝馬町110番地      |
| 訪問調査日 | 平成29年3月17日          |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

・「Always Say Yes!」の基本方針のもと、利用者様本人の意向をできる限り叶えられるよう、常に利用者様、ご家族様の心に寄り添い、全職員が一生懸命考え柔軟な対応をしている。  
 ・毎日、少しでも楽しく笑顔で「自由に暮らせる家」を目指している。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

開設してまだ1年の事業所であり、管理者は職員に対して優しいが、厳しく注意することもある。管理者に頼り、指示された事だけを行うのではなく、職員が自ら調べ勉強することにより、職員の能力を引出し伸ばすよう指導している。それでも困った時には気軽に相談できる関係を築いている。管理者・職員は過剰な介護をするのではなく、利用者の思いに沿えるよう考え、利用者の能力を活かすように努めている。問題が発生した時は、職員は様々な思いや意見を述べる事ができ、解決に向け職員全員で考え話し合いをしている。管理者・職員は暖かい心、寄り添う気持ちで接し、常に笑顔を心掛けている。利用者の傍にいる家族であり、利用者にとって事業所は自分の家だと思ってもらえるよう努めている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項 目 |  | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |   | 項 目 |   | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |   |
|-----|--|-----------------------------|---|-----|---|-----------------------------|---|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66  | 職員は、活き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |     |   |                             |   |

自己評価および外部評価結果

1階

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |   |
|--------------------|-----|---|--|--|---|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |  |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 住み慣れた地域で地域との交流を大切に健康管理を行いつつ、個人の意思を尊重して柔軟性のあるサービス提供に努めるという理念に基づき、職員の目に止まる所に貼り、確認をして業務に当たっている。             | 管理者・職員はどうしたら利用者の思いが叶えられるのか、話し合いを重ね、検討している。その人に合った自由な暮らしを提供することができるように話し合い、実践に繋げるように努めている。  |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 自治会には加入しているも、地域の行事等にはまだ参加できていない。施設周囲を散歩する中での近隣の方へのあいさつから少しずつ広げていきたい。また、近くのコンビニエンスストアへはお買い物へ行き顔なじみになっている。 | 日常的に散歩や買い物などに出かけ、地域の人達と挨拶を交わしたり、話をしたりしている。近くのコンビニが交流の場となっている。自治会に加入しているが回覧板も回らず、地域行事の案内等の情報が得られていない。                                 | 利用者が地域と繋がりながら暮らしていくことを積極的に支援するために、また、地域に必要とされる事業所となるために、地域との繋がりを深め、日常的な交流をされることを望む。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 地域の行事等へはまだ参加できていないが、運営推進会議にて自治会長様等より情報を得たり、施設の事を理解していただけるよう交流をしている。                                      |  |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | 利用状況や行事の取り組みについて報告し、意見を頂いたり、施設サービスへの質問等を頂き、よい交流の場となっている。また、その意見をもとにサービス向上を目指している。                        | 事業所の利用状況や行事、事故等の報告を行っている。認知症についての質問や事業所の取り組み状況についての意見がある。防災訓練に地域住民が気軽に参加してもらえるように呼びかけている。  |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる  | 市役所、包括支援センターの担当者の方へ報告・相談を行い、指導や助言を頂いている。   | 日頃から市の担当者で連絡を取り合っている。事業所の現状報告の際に、骨折などの事故が発生した場合の家族との対応、治療費の問題について市の担当者に相談し、助言を受けている。   |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日頃から利用者様一人一人の行動観察を行うことで可能な活動を見守ること、必要な介助を行う事、センサーベッドの活用、巡視体制を整えて拘束をしないケアに取り組んでいる。                        | 職員会議で拘束や虐待について学び、職員間でケアの方法について情報を共有している。パルン留置の利用者がカテーテルを外してしまうため、医師の指示によりつなぎ服を使用している。利用者が職員の知らない間に屋外に出た事例があったため、ユニットの玄関である扉に鍵をかけている。 | 利用者の安全を確保しつつ、利用者の思いや拘束することでの弊害などを話し合い、自由な暮らしを支援するための工夫を検討されたい。                      |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 職員会議の中で、虐待について学習し、日頃スタッフ同士で抱えているケアの悩み等を共通することでスタッフのストレス緩和に努め虐待につながらないように努めている。                           |  |   |

グループホーム トリア吉野町

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 社会福祉協議会の主催する講座に管理者が参加し学ぶことができた。現場スタッフへは周知できていないが、今後、職員全員が理解できるように努める。              |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時に重要事項説明書をもって説明し、質問等にも対応しながら理解・納得をしていただいている。                                     |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 意見をいただいた時には、内容を記録や申し送りにて職員に周知している。苦情や外部への発信が必要な時には運営推進会議の場を活用し報告している。              | 「歩かせてほしい」との要望があり、本人の体調や意欲など様子を見ながら徐々に行っている。家族から、差し入れについての意見があり、家族に不快な思いをさせないように、言葉かけについて職員間で話し合い、見直している。   |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月の職員会議には統括や管理者も出席し、職員ひとりひとりの意見を聴くよう努めている。また、普段より職員一人一人に声をかけコミュニケーションを図り意見交換をしている。 | 管理者は日々のケアの中で些細な意見でも聞くようにしている。「食事の為の買い物や献立を立てるのが大変だ」との職員からの意見を踏まえ、職員全体で検討し食材配達業者により献立に応じた材料を納品してもらえるようになった。 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 年次昇給、資格所持者には資格手当を支給するなどその職員に応じて評価している。   |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 外部研修に順次、参加してもらっている。また、毎月の職員会議では、必要に応じて内部研修を実施している。                                 |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内の施設部会や懇親会に参加し同業者との交流や情報交換を行っている。   |  |                   |

グループホーム トリア吉野町

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前にご本人の様子を見に行き、入居確定時にご本人の施設生活への思いを確認するよう努めている。   |  |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居相談の段階からご家族の思いに声に耳を傾け、納得・安心されるまで話し合いの機会を設け確認するよう努めている。                                   |  |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | ご本人やご家族の思いに耳を傾け、その方の現状に合ったサービス検討を各職種の意見も踏まえながら柔軟な対応ができるよう努めている。                           |  |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日常的な家事(掃除や洗濯たみ、食後の片づけ等)、またはカレンダーめくり等、利用者様ができる事を役割として提供し職員と一緒にしている。                        |  |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご本人の意向をご家族へ伝えることで、可能な範囲でご家族で叶えられることはお願いをしている(外食、買い物、洗濯等)。また面会時にご家族と居室やリビングにて談話する機会を設けている。 |  |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご家族に確認の上、ご本人の友人が面会に見え一緒にお茶を飲んだり、馴染みの喫茶店やスーパーへ出かけたりしている。                                   | 友人に遊びに来てもらえるよう誘ったり、面会が少なく疎遠がちな家族には、事業所より面会を依頼したりして関係が途切れないように支援している。利用者が思い出せない馴染みの喫茶店を探し出し一緒に出かけている。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 職員が仲介に入り空いた時間にリビングで談笑されている。また、声かけにて毎日、体操やレクリエーションと一緒に利用者様同士がコミュニケーションを取れる様にしている。          |  |                   |

グループホーム トリア吉野町

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | まだサービスが終了したケースなし。   |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 日々の生活の中でご本人の思いに耳を傾け、また、表情や行動等も観察している。必要に応じて、ご家族からも話を聞いたり情報収集している。                                     | 利用者からの訴えは、顔色を見ながら対応し記録に残し、職員間で共有している。家族の訪問時に近況を報告している。利用者から家族に思いを打ち明けられることもあり、否定せず聞いてもらえるよう家族に依頼している。  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | サービス利用前に情報収集し、職員に周知している。また、その後の情報は申し送りや職員会議で報告し共有している。  |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 個人記録に気付いたことや変化等を記録するようにし、それを読んで各スタッフ把握している。また、申し送りノートも活用し状況の変化など一人が得た情報であっても職員全員が共有できるようにしている。        |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 現場スタッフの意見やご本人、ご家族の声をケアマネージャーが総括してその都度見直しを行ないながら介護計画を作成している。   | 利用者・家族の意見を取り入れ、職員とケアマネージャーが話し合い計画を作成し、家族に同意も得ている。生活記録やモニタリングより月1回の会議で話し合っている。本人の状態変化時は、随時、介護計画を見直している。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個人記録にキーワード欄をつくり、スタッフの気づきや利用者様の様子が少しでも見やすいものとなるよう努めて記入している。また、必要時は申し送りノートにも記入し職員が情報を共有し介護計画の見直しを行っている。 |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 出張理美容やハンドマッサージ、病院受診や短時間の外出など希望に合わせた支援を行っている。  |  |                   |

グループホーム トリア吉野町

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |  |
|----|------|---|--|--|--|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | まだ地域への行事等へ参加できていないため、今後の課題として取り組んでいきたい。  |  |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 基本、嘱託医による往診を受けているが、希望があれば他科の受診が出来るよう対応している。  | 家族・利用者に往診してもらえることを説明し、かかりつけ医を協力医に変更している。専門医への受診は継続し、家族に依頼している。できない場合は職員が同行することもある。受診の際に必要な事項を記入し家族に渡している。    |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 毎日の体調管理、服薬状況、状態観察など医療面の情報や、その他気づいた点も医療面等に報告し看護師の判断で適切に受診等を行っている。                         |  |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | まだ入院したケースはないが、入院した際は地域医療連携室等に速やかに連絡を取り、現状の確認や退院前の調整を行っていききたい。                            |  |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 日々の生活の中で持病の症状等が悪化したり、変化のあった際は早めの家族連絡を心掛けている。今後、終末期に向けた方針を主治医・ご家族様・職員で話し合い、全職員に周知するよう努める。 | 事業所を終の住み家と考え、家族や本人の希望により、看取りをする方針を伝えている。現在看取りの該当者はいないが、重度になった場合、看取りに対して説明し同意を得て、関係者と共にチームで支援する予定としている。       |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 電話近くに緊急時フローチャートを置き、すぐ確認できるようにしている。マニュアルを作成し事態に備えている。                                     |  |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 年に2回、消防署に依頼して消防訓練等を実施している。   | 運営推進会議で避難訓練について、地域住民に参加を呼び掛けているが、参加には至っていない。昨年は1階のみの訓練を実施したが、現在2ユニットとなり次回より2階も含めた避難訓練を実施する予定である。災害時等の備蓄品がない。 | 災害時、事業所職員だけでは限界があるので、早急に地域との協力体制の構築をされることを期待する。また、災害時に備えた備品等も準備されることを希望する。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 言葉かけや対応については、入職時のオリエンテーションにて周知し、適宜、職員会議の場で話し合い注意している。                                    | 職員は名字で声掛けすることを基本としている。名前や「お母さん」と呼んでほしい利用者もあり、個々に合った呼び方をしている。利用者との視線を合わせて会話している。職員間で話す際には、部屋の名前で呼んでいる。   |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 利用者様の声に耳を傾け、日々の生活の中で自己決定できる事はして頂ける様、促し支援している。  |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の気分や体調等に考慮して、可能な範囲で希望に添う様にしている。   |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 朝の更衣時や入浴時の洋服等をご本人に選択していただいている。また、ピン止めやカチューシャ等お好みに合わせて使用されている。月に2回、出張理美容を希望者には利用して頂いている。  |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事の準備は取り分けをしていただいたり、おしぼりを作っていたり分担任して一緒に行動し、食後は食器を重ねたり、洗った食器を拭いてくださる等片づけも職員と一緒に協力して行っている。 | 利用者は小鉢に取り分けたり、食器を拭くなど役割を分担し、職員と一緒に準備や後片付けを行っている。食べたい物があれば、利用者の希望に沿ったメニューを選択し、食材配達業者に食材を依頼し取り寄せをすることもある。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | メニューは食材配達業者の立てたメニューを活用している。水分量が少ない時は、こまめに声をかけし促している。                                     |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | まずはご本人様に行っていたら、その時の能力や状態、意欲に合わせて介助が必要な場合は介助にて行っている。                                      |   |                   |

グループホーム トリア吉野町

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表を活用し、いつもより間隔が長かったり、行かれていない時は、必要に応じて声かけを行ない、誘導している。  | 排泄チェック表により利用者の排泄パターンを確認し、トイレでの排泄を基本としている。つなぎ服やオムツを着用していても「トイレに行きたい」と言われれば、介助し支援している。              |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排泄チェック表を確認し数日、排便がない場合は主治医・看護師に相談し対応している。またヨーグルトを食べていただいたり、体操にて運動するよう促している。   |   |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 希望に沿って、毎日や一日おき、一番風呂や夕食前等一人一人に合わせて入浴していただいている。入浴が苦手な方も、ゆっくりお話をして安心して入浴していただける環境を作っている。                                  | 可能な時間帯であれば、個々の入浴の希望に対応できる。利用者毎にその都度湯を変え、ゆっくり湯につかれるようにしている。入浴が嫌いな人には、本人がその気になった時に、誘導し入浴支援をしている。    |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中のほどよい活動をすすめ、夜間、良眠できるように促している。また、それぞれに就寝時間を決めてみえるため、それに合わせた就寝介助を行っている。  |   |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 詳細までの理解は今後の課題であるが、誤薬、未薬防止のため、内服の薬の数等は把握し、服薬介助時はダブル・トリプルチェックをしている。  |   |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 好きなことばかりではなく、苦手なことも皆さんでやることに楽しみを見出して頂けるよう同じレクリエーションでも提供方法を工夫して行うよう心掛けている。また、ご家族様の協力もあり、レク用品等を活用して楽しめる時間を提供することを心がけている。 |   |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | まだまだ回数は少ないも、買い物、ドライブ、散歩、喫茶店など希望に合わせて外へ出る機会を少しづつ作っている。  | 屋外に出て外の空気をに触れたり、いつものコースを散歩し花を摘んだりしている。ドライブへ出かけ、喫茶店や買い物に行っている。図書館へ本を借りに出かけたり、卓球をするために外出したりすることもある。 |                   |



グループホーム トリア吉野町

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 基本、買い物に出かけた際は、職員が所持し会計している。自己にて払える方には、その時だけ財布をお渡しし、そこから支払っていただく。             |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | ご本人様の希望があればご家族様に電話をしご本人様と話をさせていただいている。                                       |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングには季節に合わせた飾りをして季節感を楽しんでもらっている。  | リビングには加湿器や空気清浄器を置き、夜間の照明の明るさに気を配り、観葉植物も配置し、居心地良く過ごせる空間としている。利用者と共に作成した大きな字で、見やすいカレンダーを掛け、壁に満開の桜となるように工夫された作品を飾り季節感を醸し出している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | テレビ前にソファを設置し、そこでのんびり過ごしたり、食事以外はリビングの椅子に自由に座り、そこで集まっている方同士と一緒に話し過ごせる空間ができている。 |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 自宅から可能な範囲で使い慣れたものを持ってきていただき、過ごされている。   | 居室でハムスターを飼い餌をあげて世話をし、可愛がっている利用者がある。また、息子さんの遺影に水や御仏飯を供えお参りされている利用者もあり、ひとり一人の思いに沿った居室作りをしている。                                 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 職員がその方の心身状態を把握し、できることを小さなことからできるように環境を整えるように努めている。安全に事故なく日常動作が送れるよう見守っている。   |   |                   |